



## 環境改善活動

### ■ 研究者倫理

名古屋工業大学の「研究者倫理に関するガイドライン」の第3条第2項において、「実験の過程で生じた廃液，使用済み薬品や材料等は，自然環境に害を与えないように処理しなければならない。」とあり，環境維持に向けての研究者，教育者としてのあり方を規定しています。

### ■ 省エネルギーキャンペーン

省エネルギーの取り組みとして，夏季(5月1日～10月31日)において，各研究室・事務室などの室温適温化(28℃)を推進しています。この取り組みを徹底するため，夏季の職員の服装については，暑さをしのぎやすい，ノーネクタイ・軽装を推奨しました。

### ■ 夏季一斉閉庁

夏季の電力使用量の削減を目指して，2020年は8月12日(水)から14日(金)の3日間を一斉閉庁としました。一斉閉庁期間中は，OA機器・電化製品のコンセントを抜き，待機電力の削減に努めました。

この一斉閉庁により，約43,827 kWh(8月12, 13, 14日の3日分)の電力使用量を削減することができました。CO<sub>2</sub>に換算すると約18.9tの削減量となります。

# 学生環境改善プロジェクト

## 生協学生委員会

学生たちの活動を  
紹介します！



私たち生協学生委員会は大学で生活している学生に対し、よりよい大学生活を過ごしてもらうために様々な企画を提案し、活動をしています。それらの多岐にわたる活動の一環として”環境に関する活動”も行っています。

コロナ禍前は、大学会館前の中庭清掃を何度か行なったり、花壇にひまわりの種を植えて当番制で毎日水やりを行なったりしました。しかしコロナが流行し始め、2020年度は、これらの企画は行うのが困難のため、行うのをやめました。

### ●リ・リパック回収促進活動

上記の活動の他に、生協学生委員会が行っている活動として、リ・リパックの回収があります。大学内の建物にあるゴミ箱に回収カゴを設置して、常時、回収をしています。しかし、リサイクルできるということを知らない人もいて、ゴミ箱にそのまま捨てられていることもあります。そこで、回収推進のために、大食丼を食べ終わった後どのように回収するのかを説明するポスターや、回収場所を示すポスターを作りました。2020年度はコロナの関係で対面での活動がほとんどできませんでしたが、代わりにオンライン会議でこのように作成物をつくることができました。



### VOICE ~生協学生委員会より~

世界中で問題となっている環境問題を解決していくためには、1人1人が日ごろから環境に配慮した行動をしていくことが大事だと思います。そのために大学内でも、大食丼を食べた学生にはリ・リパックの回収に協力してもらいたいと思っています。今はコロナ禍の影響でリ・リパックの回収に関連した活動しかできていませんが、これからも、生協学生委員はこのような取り組みを行い、学生や職員、教員のみなさんと環境に配慮した活動をしていきたいと思っています。

### リリパックはここへ！

#### リリパックとは...?

コンビニで買える大食丼のケースのこと  
とっても簡単にやさしいよ！

#### リリパック回収まで





## 名古屋工業大学工大祭実行委員会

私たち、名古屋工業大学工大祭実行委員会では、地域貢献の一環として地域の美化、地域住民との交流を目的とした地域の清掃活動を行っています。

工大祭実行委員会は「定例ごみ拾い」と題して、毎月第三日曜日午前に、鶴舞公園やその周辺でごみ拾いを行い、コロナ対策など、参加者の体調に気をつけながら、毎回約 15～20 人ほどの工大祭実行委員が参加しています。

定例ごみ拾いでは、鶴舞公園の周辺だけでなく鶴舞駅や名大病院など周辺の施設の近くでもごみを拾うようにしています。公園内の脇道や名大病院沿いの歩道にゴミが多いと感じています。ごみの内訳はたばこの吸い殻や食べ物の袋などの可燃ごみの量が最も多く、他にもペットボトル、缶、瓶、その他不燃ごみもあります。

委員会の今後の目標の一つとして、地域の方々と関わる機会をさらに増やすことが挙げられます。より広い範囲にてごみを拾うことでより地域に貢献でき、さらに多くの地域の人とかかわることができると考えているからです。また、私たちが清掃活動を行っている日やそうでない日にも、自主的に清掃活動を行っている地域の方を見かけることがあります。定例ゴミ拾いを通して、そういう方々ともあいさつや会話などをして、交流の場を増やしてしていくことができればいいなと思っています。

これからも工大祭というものをより地域の方に知ってもらい、地域に馴染みのあるものにするために、あいさつなどを意識しながらより一層頑張っ活動していきたいと思ひます。

